

活動状況のお知らせ

10月活動報告		11月活動報告		12月活動報告	
2月	運営企画会議	2木	ふれあい定例会・通所変更届提出	4月	運営企画会議
4水	デイふれあい部会	6月	運営企画会議	6水	担当者会議・デイふれあい部会
10火	知多中南部介護保険事業者研修	8水	担当者会議	8金	半田医師会講演会・
12木	運営委員会・	9木	運営委員会		あいち福祉ネット講演会
	移動ネット愛知懇談会	11土	合同委員会	9土	合同委員会
16月	市民参画推進懇話会	15水	常中生体験学習(デイ・おいで屋各2名)*	11月	運営企画会議
17火	地域ケア会議・		ケアマネ部会	13水	知多中南部全体研修会
	介護サービス情報の公表調査・	16木	NPOと行政の意見交換会(サポートちた)	14木	運営委員会
	女と男のつどい実行委員会	18土	研修「高齢者・障害者の虐待について」	16土	研修と意見交換会
18水	お出かけツアー・安全運転管理者講習		あかりの今後についてのアンケート(正会員)	20水	担当者会議
21土	運営委員・おいで屋世話人研修会	20月	担当者会議	21木	サポートちた見学ツアー来訪
25水	担当者会議・社協評議委員会	22水	ヘルパー部会		障害福祉計画策定委員会
		25土	MHWシンポジウム 「介護保険はどうなった？」	28木	大掃除 仕事納め
		29水	コーディネーター会		
		30木	知多中南部ケアマネ研修会・検便実施		

発行
常滑市市場町 1-53
特定非営利活動法人
あかり
責任者 竹田 加津子
TEL/35-4185
FAX/35-6862
http://akari.npo.gr.jp



2007年1月
37号

利用者の作品で飾る玄関の様子



新しい年が始まりました。
今年も健康で、良いことがたくさんありますように。
本年もどうぞよろしくお祈りします。

海相神社と神明社へ初詣に行ってきました



		10月	11月	12月	会員数(12月末現在)	
		活動時間	530.75時間	524.5時間	550時間	正会員
たすけあい活動	利用数	75件	70件	70件	賛助会員	160名+2団体
	弁当利用者数	140名	140名	105名	合計	381名+2団体
訪問介護	利用時間	1131.75時間	1035.25時間	1059.25時間		
	利用者数	68名	71名	68名		
障害福祉等サービス	利用時間	160時間	151.75時間	126.5時間		
	利用者数	15名	14名	14名		
デイハウスあかり	参加人数	106名	108名	106名		
おいで屋	利用者数	505名	498名	478名		

昨年、12月20日(水) おいで屋にて
青海ふれあいハウスが人形劇《葉っぱのフ
レディ》の発表会を行いました。



おいで屋催し物 ご案内 《月曜～金曜/10時から15時までオープン》

- 展示 (最終日/14時まで)
吉川 秀子 作品展 1月9日(火)～2月2日(金)
石川一彦・良子 二人展 2月5日(月)～3月2日(金)
- うたの広場(さくらんぼ) 3月6日(火) 10:00～11:30
参加費 200円(会員手作りの和菓子とともに楽しみください)
- 押し花を使って小さな額絵を作ろう 2月21日(水) 13:30～
講師 堂本 さち子氏 参加費 200円(材料費)

賛助会員 (12月末現在)

美濃 はな

ありがとうございました。

入会のおさそい

困ったときはお互いさまの精神で、利用する方・協力する
方の輪を広げていきたいと思っています。
あなたもお仲間になってください。

あけまして おめでとう ございます

この一年は“あかり”にとって大きな変動の年になりそうです。
というのは、昨年来からお知らせしているように現在の伊藤クリニックからお借りしている拠点（事務所・デイサービス）を移転することになるからです。

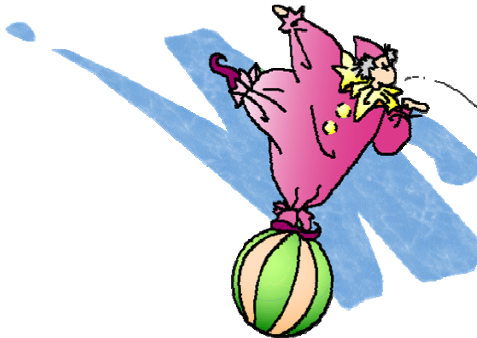
10周年を過ぎ、一つの節目にあたり正会員みなさんにアンケート、そして“あかり”に対しての思いをもっと聞き合い深めるために意見交換会をいたしました。

その結果、“介護保険等の事業は必要だがたすけあい活動や啓発活動（イベント・見学会等）も大切にしたい”との言葉が多く聞かれました。地域たすけあいの会“あかり”として発足して以来、変わることもない初心の思い「困った時はおたがいさま」のたすけあいの心を大切に、「安心して暮らせるまち」を目指して努力を重ねてそれぞれの事業を進めてまいりたいと思います。また、正会員の不足・高齢化などの問題は深刻ですが、一人一人がより希望する働き方を考え、話し合い、支え合っていく体制をつくっていかうと思います。

これからも温かく見守り続けていただき、ご意見をお聞かせいただきたいと思います。
よろしく願いいたします。 （代表 竹田 加津子）

あかり講演会のご案内

心をいやす ケアリングクラウンって知ってますか



心から笑って暮らしていますか？
人が生きがいを持って暮らしていく、そのためには心から笑って暮らすことってとても大事なことです。
病院に入院している子供たちや施設に入所のお年寄り。
そんな人たちのところへ訪問し、笑いを提供し、生きる希望を与える活動をしているのがケアリングクラウンと呼ばれているボランティアの人達。そのケアリングクラウンの活動をしているボッチ☆アダムスさんを講師にミニミニクラウンショーと講演会を催します。
私たちの日常にも役立つお話と思います。ぜひご参加ください。

☆ 日時 2007年3月11日（日） 13:30~15:30

☆ 場所 常滑市福祉会館 参加費 無料

☆ 講師 ボッチ☆アダムス（中谷 豊実）氏
プロフィール

- ・1961年生まれ・知多市出身 ・南山高等学校・中学校(男子部)教諭
- ・2005年、瀬戸で開催された「世界クラウンキャンプ」に参加し、200人の世界の先輩クラウンとともに万博でクラウンデビュー
- ・その後、仲間たちとケアリングクラウンとして活躍中



介護サービス情報の公表制度による訪問調査を受けました。

介護保険法が改正され、利用者の権利を守るため、サービスの質の向上のための情報提供の環境整備を図るため、介護サービス事業者には介護サービス情報の公表が義務付けられ、行なわれたものです。利用者による介護サービス事業所の選択を支援することを目的として、事業所の比較検討が可能となるよう、介護サービスの種類ごとに共通の項目の情報が定期的に公表されます。

「介護サービス情報の公表」は、介護保険制度の基本理念である「利用者本位」「高齢者の自立支援」「利用者による選択（自己決定）」を現実のサービス利用において保障するための新しい仕組みとされています。

公表される情報のうち、調査情報については、調査員が当該事業所を訪問し、その情報の根拠となる事実が確認された後、公表されます。

この、公表される介護サービス情報は、事業所が提供する介護サービス内容及び事業所の運営状況に関する情報のうち、利用者が適切かつ円滑に介護サービスを利用する機会を確保するために公表することが必要な情報ということですが、担当者にとっては事務量が多くなりました。利用者による選択（自己決定）を保障するための新しい仕組みと言われながらパソコン上だけの公表とは高齢者を対象としたサービスとしてはちょっと疑問を持ちますし、調査の費用も団体持ちです。

先ずは一度『愛知県介護サービス情報公表システム』のホームページを開いてみてください。

また、あかりではこれに伴い利用者さんへのアンケートも実施してみました。結果は、「話をよく聞いてくれる」とか「親切で明るい」と認めてくださりながら、改正介護保険法の介護区分の見直しにより援助が充分でないと感じる利用者さんもおられました。活動者たちはこれらを受け、できる限り期待に応えられるよう前向きに話し合いました。

口腔ケアを見直しましょう

まだしばらくは寒さが続きます。昨年末はノロウィルスの脅威が新聞紙上などでも話題になっていました。インフルエンザも心配されます。そのインフルエンザに口腔ケアが効果があるといわれます。ある介護福祉施設で、週1回、高齢者を対象に口腔ケアを実施。歯みがきや舌みがきの指導、歯垢の除去を行ったところ、ケアを実施しなかった施設と比べて、インフルエンザの発症率が10分の1に激減したそうです。

口腔衛生状態により口腔内に住み着いている細菌は、唾液1ml中に一億を超える細菌が算定され、口腔清掃を中心とした口腔ケアは誤嚥性肺炎も含む呼吸器感染予防の鍵ともいえ、口腔清掃に心がけることが大切であることがわかりました。

『口腔内細菌が咽頭・口腔粘膜を傷害することによってインフルエンザウイルスが吸着し、肺の細胞に侵入することが指摘されている。口腔清掃を中心とした口腔ケアは、インフルエンザの予防や肺炎予防になると考えられる。口腔ケアはコストのかからない肺炎予防で、インフルエンザの予防効果についても正しく評価していきたい』と口腔ケアの専門家は言います。

口腔ケアを心がけましょう。

